

テレワーク、テレビ会議

IT専門サポーター 鵜野 昭二

(ITコーディネータ、有限会社フレバー情報システム 代表取締役)

この原稿は、6月上旬に書いています。ひめじ商工会議所報が配布される7月1日頃がどのような状況になっているかわかりませんが、大きな変化がないとすれば地域の中小企業、小規模事業者のほとんどが新型コロナウイルス拡大前と同じ勤務形態に戻っているのではないかと思います。今回はwithコロナ、また自然災害等の発生に対する備えとして、改めてテレワークについて考えてみたいと思います。

テレワークとは、tele=離れた所で work=働くということですので自宅以外にもワーキングスペース、出先等で働くことも含まれます。

今回は緊急事態宣言が出され、無理やり始まった感のあるテレワークですが、本来は、就業規則の変更、業務の見直し、セキュリティの確保など様々な条件を整えてから始めるべきものと思います。またテレワークの内容は、そのほとんどがパソコン等を使って会社の情報にアクセスし業務を行います。会社のデータにアクセスする方法としては、一般的に下記の4種類の方法が考えられます。

- ①グループウェアを利用して社内情報の共有また出先からの報告を行う。
- ②クラウド会計等のクラウドシステムを利用して、伝票入力、会計処理等を行う。
- ③クラウドストレージを利用して社外からファイルの読み書きを行う。
- ④会社のパソコンを外部から操作、また社内のLANに外部から参加して社内と同じ環境で仕事をする。
 - ①を利用すればスケジュールの共有、業務報告の作成等が社外からも可能になります。
 - ②については、今後はクラウドシステムが主流になると思います。クラウドのシステムは色々と使い勝手

が良いので導入を検討してみても如何でしょうか。

③のクラウドストレージは、ドロップボックス、グーグルドライブなど多くの会社がサービスを提供しているので何を使えば良いのか迷いますが、簡単に導入できますし、無料または安価に利用できます。これもテレワークを行ううえでは、大変便利な方法の一つです。

④について、NTT東日本の「シン・テレワークシステム」、VPN接続ソフト等を利用すれば比較的簡単に仕組みを作ることができます。

また今回、テレビ会議もテレワークには必須のツールになりました。

テレビ会議については、場の空気を感じにくい、ネットワーク環境や機器の準備が必要等のデメリットもありますが、会議室が不要、出先からも参加可能等のメリットも多くあります。テレビ会議を行ううえでの注意点としては、

- できるだけカメラを見て話す（どうしても画面を見てしまうので目線が下になってしまいます）。
 - 発言のテンションを少し高くする。ゆっくり話す。笑顔で、表情や仕草は大きめに。
- などがあげられると思います。

テレビ会議のツールとしてはZoomが最も利用されているようですが、Skype、GoogleMeet等もあります。特にツールにこだわる必要はないと思います。

テレワークに関わる経費についてはIT導入補助金、ワークライフバランス助成金等も利用できます。今回の経験を契機に是非テレワークの定着を考えてみてください。



IT相談窓口

IT専門サポーターがITに関するギモンや課題にマンツーマンでアドバイスします。

毎週木曜日 9:00～17:00

7月は、2日(木)、9日(木)、16日(木)、30日(木)開設予定です。
※都合により、日程を急遽変更する場合がございます。

予約制・無料



お気軽にお問合わせください。

姫路ものづくり支援センター (姫路商工会議所・姫路市)

TEL 079-221-8989 FAX 079-222-6005 メール kougou@himeji-cci.or.jp